

■参加者：

学生：学部 2～4 年生・修士 1～2 年生 10 名， 教員：山田， 桑原， 平田

■議事録：

<授業，カリキュラム，研究指導>

（学部授業について）

- 設計演習 II：班によって課題の難しさ，量に差があるのは問題．班の決め方も納得できない．
- 測量学と測量学実習の実施順序が逆の方が良かったという声があった．実習と座学を混ぜながらという方法でもよい．通年で授業と実習を組み合わせた科目にすることも可能性としてはあるが，現状は難しく，課題とすることを教員より学生に伝えた．
- 2 年前期は授業が多くて大変だった．特に，構造力学 I は毎週課題が出て大変だった．
- 都市システム工学演習の科目が，講義授業と分かれていることは悪くない．講義の時間が演習に取られないので．
- 建設工学演習で講義より先の内容をやることがあったが，演習中で講義をやらしてもらえたので大きな問題ではなかった．
- 演習科目は個人的には要らないと思う．課題を配ってもらえれば自分でやり，分からなければ聞きに行けばよい．
- 授業時間中の演習(演習科目やそれ以外の科目)があった方がよい．理解が深まった．先生に質問することはあまりない．

（大学院について）

- 前期科目でまだ成績の出ていないものがある．
- 人数が少ないので学生との距離が近いので良いが，逆に緊張感がなかったり，授業日程の変更が多かったりと感じることはある．
- 選択授業が多いので受講分野が偏ってしまう人が多い．
- 興味のある分野だけを履修できることが大学院の良い点だ．幅広い分野を受講すべきであれば他専攻の科目も受けられるようにした方がよい．
- 後期の履修者が少ない理由として，後期は就活があるのでなるべく前期で取りたいと言っている人もいた．

（研究活動）

- ほとんど努力していない卒論でも卒業できてしまうことがあり，一生懸命やっている学生との不公平感がある．

<教育研究施設とその管理>

- IT 基盤センターの印刷枚数の制限が 3 年後期が始まったところで超える、大半の人は制限を超えている。実験レポートの印刷で班の中で余裕のある人を探す、それでも足らず、個人持ちのプリンタを使うことになる。
- 2 年生でも、電子データで先生からもらった授業資料を印刷する人は、制限に達してしまっている。
- 不足分は申請してお金を払えば追加枚数が使えるようになると良い。

<その他の安全管理>

- 戸締り記録簿を作成する意味、効果は本当にあるのか。役割を果たさずに最終場所においてしまう人が居るように思う。
- 時間外使用届も本当に必要か。他学科ではやっていないところもあるそうだが。
- 裏門から最寄り駐輪場までの通路を自転車通行可にして欲しい。学内の自転車走行ルールがなぜそうなっているか分からないし、他に守られていない場所もある(生協前)。
- 学内禁煙で、門の前や、大学前の道路を越えた先の住宅地内の路上で喫煙しているのは問題である。

以上 (文責：桑原，平田，山田)